



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年11月25日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

避難訓練（不審者対応訓練）を実施しました！

11月18日(金) 期末考査の3日目に避難訓練(不審者対応訓練)を実施しました。

不審者対応訓練は、もし不審者が学校に侵入したとき、一人も危害を加えられることなく、全員が安全に素早く避難できるようにするための訓練です。みなさんの中には、「学校に入ってきて中学生を襲うようなことは考えられない」と思っている人も多いかもしれません。

確かに、学校から中学生を連れ去ったり、学校で傷つけたりするような事件は、めったに起きるものではありません。実際、尾倉中については、今まで一度もそんな事件は起こっていません。だからといって、これから絶対に起こらないとはいえるでしょうか。

今から約20年前、2001年6月8日、大阪の池田小学校に、包丁を持った男が侵入しました。子供や先生を追いかけ回して命を奪った事件です。1年生と2年生の児童が8人亡くなり、15人の児童と先生が大けがをしました。この事件が大きなきっかけになり、不審者に対応する訓練や犯罪から身を守る訓練が学校で行われるようになりました。

さて、避難訓練に話を戻します。地震の時は「地震です」、火事の場合は「火事です」と放送で伝えられますが、不審者の場合は、学校によって異なりますが、「校長先生、お客様がお見えになっています」という放送を流します。これは、学校の中にいる不審者を刺激しないためです。

授業中、この「お客様」という放送を聞いた場合は、「不審者が学校に来た!」と思って自分の身を守る行動をとってください。具体的には、教室の入口から離れるようにする、静かに落ち着いて行動する、近くの先生の指示に従うといったことが大切です。

もし、不審者が学校に来たら、先生たちが協力して、不審者が皆さんの教室に近付かないようにします。でも、不審者が刃物などの凶器を持っていて、無理矢理教室の方へ行こうとする場合もあるかも知れません。そのような場合に備えて、みなさんは教室に鍵をかけます。机などでバリケードを作ることもあります。もちろん、絶対に声を出してはいけません。そのようにして避難している間に、先生たちが警察を呼び、不審者を確保してもらいます。その後、全員の無事を確認します。本当に不審者が学校に来るようなことがあっては困りますが、万が一のことも考えて、毎年このような訓練をします。避難訓練は、みなさんの命を守る大切な訓練です。これからも真剣に取り組んでください。

- ① 緊急放送(不審者侵入の合図)
「校内放送、校内放送、校長先生、お客様がお見えになっています。校長室にお戻りください。」
- ② 教室のドア・窓の施錠
- ③ ベランダ側に集まり、腰を下ろす。
- ④ 緊急放送(不審者確保・退去の合図)
「教頭先生、校長室にお客様が戻りますので、お戻りください。」



暴力団排除教室を実施しました！

11月21日(月)5校時に暴力団犯罪から青少年を守るために県警が実施する「暴力団排除教室」があり、全校生徒が耳を傾けました。福岡県警組織犯罪対策課 高野 真紀先生は「暴力団は映画などが美化するイメージと違い、犯罪行為をする集団。関わったら不幸になる。ささいなことでも警察に相談して」と訴えました。福岡県警は、県暴力団排除条例に盛り込まれた「青少年への暴力排除教育」に基づき、2011年から県内の全中学高校を対象に教室を実施しています。

この日は、暴力団のしくみや暴力団に入るきっかけなどを高野先生がスライドで紹介しました。事例を示しながら「暴力団は決してカッコいいものではなく、入ってしまったら最後、地獄のようなものだ」と強調しました。さらに、最近では低価格の大麻購入を勧めたり、インターネットを介した被害も少なくないことを説明しました。暴力団犯罪を避ける注意点として①非行に走らないこと②ネットに個人情報掲載しないこと③人を傷つけないことなどを挙げました。(本日は他に組織犯罪対策課 岩尾 宏和警部、山内 幸先生も参加しています)

尾倉中学校では、生徒が暴力団員による犯罪の被害に遭わないことを目的として「暴力団排除・薬物乱用防止教室」を毎年実施しています。福岡県警察本部から講師を招き、暴力団の加入手口など実際の事例をまじえながら解説していただきます。

講演では、薬物乱用の危険性についても紹介し、生徒が生涯にわたって暴力団への関与や薬物乱用を絶対にしないという意味をもち、行動できるように学ぶ機会とします。

このような暴力団排除教育を行うことで、生徒に「暴力団犯罪の被害に遭わない、暴力団に関わらない」といった意識付けを行うとともに、将来的には「暴力団が存在しない福岡県」の実現に結びつけることを目指します。

